

## 第123回 北海道整形外科外傷研究会

平成23年 2月26日 札幌市教育文化会館  
出席者 76名

### 主題：アキレス腱断裂

富良野協会病院 整形外科 矢倉 幸久

アキレス腱断裂は非常に発症頻度の高いスポーツ外傷で、整形外科医が日常よく遭遇する疾患の一つであります。国民の健康志向に伴う運動機会の増加や、スポーツ活動への参加などとも関連して、受傷する機会も増えているものと思われ、2007年には日本整形外科学会よりアキレス腱断裂診療ガイドラインも発行されました。本研究会では、1994（平成6）年10月の第84回研究会で主題となって以来、取り上げられていなかったため、第123回研究会では、15年ぶりにアキレス腱断裂を主題といたしました。

当初、演題の集まりが悪く心配しておりましたが、一般演題2題、主題10題が集まりました。主題は、症例報告、保存的治療、手術的治療、合併症の問題と幅広く各先生方よりご発表いただき、活発な討論が行われました。改めて、アキレス腱断裂治療の奥の深さを痛感いたしました。

教育研修講演は、関東労災病院スポーツ整形外科の内山英司先生に『私のアキレス腱手術』の演題で、ご講演いただきました。従来の治療法に対する疑問点から、先生が工夫・改良を加えられてきたアキレス腱断裂の手術法（新鮮例に対する縫合術、陈旧例に対する形成術）について、その根拠、そしてその実際をわかりやすくご講演いただきました。トップアスリートばかりでなく、70歳以上の高齢者まで幅広く、早く動け、ADLに復帰できる治療は、アキレス腱治療の理想に近いものであると感じました。

参加したある先生から、軟部組織でこれだけのディスカッションが出来たのはとても有意義な研究会だった、というお言葉をいただき、アキレス腱断裂を主題として良かったという安堵と、参加された多くの先生方への感謝の気持ちをもって無事会を終了することが出来ました。関係者各位に深謝申し上げます。